



CORPORATE REPORT 2022

2022年12月期
第1四半期決算報告

2022年1月1日



2022年3月31日

GMOINTERNET

証券コード：9449

インフラ事業における ストック&トランザクション モデルの強みにより 各事業が利益拡大フェーズへ

代表取締役グループ代表
グループ会長 兼 社長執行役員・CEO

熊谷 正寿



インターネットインフラ事業が最高業績を更新



当第1四半期の連結業績は、インターネットインフラ事業、インターネット広告・メディア事業において、収益認識に関する会計基準適用の影響もあり、前年同期比で減収、営業利益・経常利益は減益となりました。一方、本質的な事業成長を示す旧会計基準比較では、4.7%増の売上成長を遂げました。

セグメント別の状況では、インターネットインフラ事業は決済、セキュリティなど上場グループ会社が成長に加え、これまで投資先行だった非上場企業群による業績貢献がありました。また、ドメイン、クラウド・ホスティングも個人向け商材が好調に推移しました。インターネット広告・メディア事業は、自社メディアが好調にPV数を伸ばしたこと、またリサーチ市場の好況と独自の強みを活かし、業績拡大に寄与しました。インターネット金融事業では、FX相場の一方向の円安進行により収益率では苦戦しましたが、外貨ex by GMOの連結効果により収益が拡大しました。また、CFD商材も好調に推移しました。暗号資産事業では、市況が活況だった前年同期比で売買代金の減少にともない低調に推移しました。

今後の戦略として、インターネットインフラ事業では、セキュリティに関する「暗号」「サイバー」「ブランド」の3領域を集約し、GMOグローバルサイン、GMOサイバーセキュリティ by イエラエ、GMOブランドセキュリティの3社で『すべての人に安心・安全なインターネットを』提供する体制を構築していきます。当社グループ事業のさらなる発展にご期待ください。

連結業績ダイジェスト (2022年1月1日▶2022年3月31日)

▼第1四半期決算のポイント

当第1四半期	
売上高	営業利益
 56,065 百万円	 11,128 百万円
(前年同期比 8.5%減)	(前年同期比 10.8%減)

▼セグメント別の概況 (単位百万円、カッコ内は前年同四半期比増減率)

インターネットインフラ事業	
売上高 34,759 (2.5%増)	営業利益 6,283 (32.4%増)

当四半期のポイント

- 決済をはじめドメイン、ホスティング、セキュリティが好調、四半期最高益
- 上場グループ各社に加え、投資先行だった非上場企業群の業績が拡大

インターネット広告・メディア事業	
売上高 7,892 (42.3%減)	営業利益 927 (44.4%増)

当四半期のポイント

- 広告市況の回復に加え、自社メディアのPV数増があり収益貢献
- リサーチ事業が需要期に加え、幅広いパネルにより大幅増益に寄与

インターネット金融事業	
売上高 10,796 (31.2%増)	営業利益 3,650 (17.7%増)

当四半期のポイント

- 店頭FXは外貨ex by GMOの連結化があるも、円安一方向の相場となり収益率は低下
- CFDはコモディティ市場や株価指数の活況を受け好調に推移

暗号資産事業	
売上高 2,062 (69.9%減)	営業利益 159 (96.0%減)

当四半期のポイント

- マイニング事業はデータセンターの稼働率が一時的に低下
- 交換事業は活況だった前期比では売買代金が減少

クローズアップサマリー

▼株主還元

四半期配当：期初方針に基づき19.6円の配当

当社では、配当性向33%を目途に四半期配当を実施しております。業績予想を非開示とする金融事業を含むため、本年度も連結業績予想は開示しておらず、同様に配当予想額も開示しておりません。配当額については四半期決算ごとに開示を行う予定です。

(単位：円)	1Q	2Q	3Q	4Q	配当総額
2022年	19.6	—	—	—	19.6
2021年	17.1	12.2	10.8	12.6	52.7

▼インターネットインフラ事業

あらゆるセキュリティ脅威に3社体制で対応

近年のデジタルシフトは、社会・経済活動の発展を加速し、人々の生活に豊かさと利便性をもたらしています。しかし、その一方でサイバー攻撃の高度化・巧妙化が進み、インターネット上のセキュリティ脅威が大きな社会課題となってきました。

当社グループは、あらゆるセキュリティ課題をワンストップで解決すべく、①暗号通信・SSLによる「暗号セキュリティ」のGMOグローバルサイン、②日本最強のホワイトハッカーによる「サイバーセキュリティ」のGMOサイバーセキュリティ byイエラエ、③ドメイン・商標の専門家による「ブランドセキュリティ」のGMOブランドセキュリティで3社体制を構築。すべての人に安心・安全なインターネットをご提供してまいります。

■ セキュリティ事業 3つの領域

① 暗号セキュリティ

→ **強み** 世界展開する唯一の国産認証局

電子印鑑なら
GMOサイン

 **GlobalSign**
by GMO

② サイバーセキュリティ

→ **強み** 日本最強のホワイトハッカー集団

 **GMO CYBER SECURITY**
by イエラエ

③ ブランドセキュリティ

→ **強み** ドメイン・商標のプロが
企業・サービスブランドを保護

 **GMO BRAND SECURITY**

株主総会レポート

2022年3月20日(日)、東京都渋谷区のグループ第2本社・渋谷フクラス16階にて、当社2021年12月期定時株主総会を開催しました。新型コロナウイルス感染症の脅威が続く中、感染・拡散防止の観点から、前年同様に座席数などを制限した縮小規模での開催とさせていただき、同時にインターネットによるライブ配信を実施し、議案に関する事前質問の受付といった対応を行いました。



今回は、定款の一部変更、取締役および監査等委員の選任、監査等委員の報酬額改定、会計監査人の選任が議案に挙げられました。株主の皆様のご理解とご協力により、予定通り報告と質疑・採決を行い、全議案の可決をもって終了しました。ここにあらためて感謝申し上げます。今後も株主総会のあり方を検討し、改善を重ねてまいります。



株主総会に関する情報については、
こちらからご確認ください。

<https://ir.gmo.jp/stock/shareholder/>



定時株主総会開催のご報告

2022年3月20日(日)、渋谷フクラス(東京都渋谷区)において、2021年12月期定時株主総会を開催いたしました。

- | | |
|-------|---------------------------|
| 第1号議案 | 定款一部変更の件 |
| 第2号議案 | 取締役(監査等委員であるものを除く。)5名選任の件 |
| 第3号議案 | 監査等委員である取締役4名選任の件 |
| 第4号議案 | 監査等委員である取締役の報酬額改定の件 |
| 第5号議案 | 会計監査人選任の件 |

この結果、当期の役員構成は以下のとおりとなりました。

代表取締役グループ代表 グループ会長 兼 社長執行役員・CEO	熊谷 正寿
------------------------------------	-------

取締役 グループ副社長執行役員・CFO(公認会計士) グループ代表補佐	安田 昌史
---	-------

取締役 グループ副社長執行役員・COO グループ代表補佐	西山 裕之
------------------------------------	-------

取締役 グループ副社長執行役員	相浦 一成
--------------------	-------

取締役 グループ副社長執行役員	伊藤 正
--------------------	------

取締役(監査等委員)	橘 弘一
------------	------

独立社外取締役(監査等委員)	小倉 啓吾
----------------	-------

独立社外取締役(監査等委員)	郡司掛 孝
----------------	-------

独立社外取締役(監査等委員)	増田 要
----------------	------

株主さま向けインフォメーション

お問い合わせ先

● 株主優待はこちら(GMOインターネット株式会社 株主優待事務局)

専用ホームページ <https://yutai.gmo.jp/>

お問い合わせ先 03-6633-4355

(受付時間:土日祝祭日及び会社休業日を除く平日10:00~18:00)

● 株式事務手続きはこちら(三井住友信託銀行株式会社 証券代行部)

0120-782-031(フリーダイヤル)

(受付時間:土日祝祭日等を除く平日9:00~17:00)